

“VIVITA”CEO が宇陀市を表敬訪問

～今年夏に中学生が海外短期留学！交流を続け次世代の成長をサポート～

宇陀市では今年度、中学生 10 人が世界最先端の IT 国家であり、スタートアップが盛んな「エストニア」へ短期留学しました。これは子どもたちの国際的な視野を広げ、自ら課題を解決する“起業家精神”を育んでもらおうと市が始めた「アントレプレナーシップ教育」の一環です。

その際、エストニアのアフタースクール「VIVITA（ヴィヴィタ）」にてワークショップを実施いただいた CEO Mari-Liis Lind（マリ＝リス・リンド）氏が次の日程で、宇陀市を表敬訪問されます。ぜひご取材ください。

2023年12月11日（月）

□市役所表敬訪問：11時～12時 ※冒頭のみ撮影可

場所：宇陀市役所 3階 応接室（奈良県宇陀市榛原下井足 17番地の3）

内容：市長と「子どもたちの創造的な学びの環境」について意見交換

□エストニア短期留学生との交流会：16時～17時

場所：宇陀市役所 4階 第二委員会室（奈良県宇陀市榛原下井足 17番地の3）

内容：短期留学生らによる宇陀市の魅力紹介などのおもてなし交流会

宇陀市の「アントレプレナーシップ」事業

公募で選ばれた市立中学校の2～3年生10名が今年7月22日～31日の日程でエストニアへ短期留学しました。サーレマー高校での特別授業の他、子どもたちの創造力をカタチにするアフタースクール「VIVITA」でのワークショップや起業家たちが集うスタートアップハブでのプレゼン発表などを実施。その他にも世界的なロボット企業の見学など実り多い時間を経験しました。



VIVITA とは

子どもたちが自分たちで発見、実験、創造できる子ども向けのクリエイティブ・イノベーションスタジオです。

専門的なツール▶
が揃っている



VIVITA でのワークショップでは

伝統和紙である宇陀紙を使用し、プログラミングにより翼が動くドラゴンを両国の子どもたちで作成。その他にもプラスチックを使った時計作りやアイス作りのワークショップが行われました。



▲ドラゴンの羽が動くようにプログラミングしている様子



▲ドラゴン完成品



▲プラスチックを利用した時計作りの様子



▲アイス作りの様子

【お問い合わせ】宇陀市市長公室行政経営課・水野（0745-82-3632）